

勤務環境改善のための職員アンケート調査について

医療の質の向上のためには、医療スタッフの確保・定着が不可欠であり、そのためには医療スタッフが健康で安心して働くことができる環境を整備することが重要です。また、医療法に、医療機関の管理者は医療従事者の勤務環境の改善に努めなければならないと定められています。みなさんは、どのように勤務環境改善に取り組まれていますか。今回は、職員アンケート調査を使った取り組み方法をご紹介します。

●現状把握の必要性

勤務環境改善の取り組みには、現状の把握と分析が欠かせません。勤怠管理のデータを利用して取り組みを行うこともできますが、職員の考えも加味して、適切かつ実行可能な対策を講じるためには、職員の意識や実態を正しく認識することが大切です。職員の気持ちを知り、職員が自身の職場をどのように評価しているのかを把握するために、職員アンケート調査が有効です。

●4つの領域についてのアンケート調査

当センターでは、厚生労働省の「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き」（以下、手引き）にある4つの領域（図1）に基づいた職員アンケートをお勧めしています。図2のように領域ごとに確認項目があり、職員は自身の職場について、「十分に当てはまる」「当てはまるが改善の余地あり」「全く当てはまらない」「把握していない」の選択肢で回答します。この結果をもとに問題点を整理し、課題の抽出を行います。最初から課題ありきでスタートすると、問題点を見逃してしまったり、現場の職員が望んでいる改善につながらなったりする危険もあるので、全体像を捉えてから細部を見ていくようにしましょう。手引きには、現状分析シートを活用した課題の抽出方法や、抽出された課題に対する取り組み事例も4つの領域ごとに分けて記載されているので、参考になると思います。

●継続的なアンケート調査の実施

取り組みの評価をするためにも、継続的に同じ項目でアンケート調査を実施することは有効です。前回のデータと比較することで、効果が判定しにくい取り組み内容を数値化することができるからです。また、実施したアンケート調査の結果や取り組み内容を公表することで、アンケート調査に協力した職員は自分たちの意見が反映されていることを実感でき、帰属意識を高める結果につながります。このようなプロセスを通じて、意見が言いやすくなるような風通しの良い職場の雰囲気生まれ、勤務環境改善に繋がります。

図1. 4つの領域



図2. アンケート質問項目例

働き方・休み方改善	労働時間管理、勤務負担軽減
アンケート例（以下同じ） 当直（宿直・日直）明けの勤務者に対する配慮（連続当直がない、当直明けに日勤が入らない等）がありますか	
職員の健康支援	職員の心身の健康の確保
職員のメンタルヘルス対策（相談窓口、復職支援プログラム、職場改善等）は十分ですか	
働きやすさ確保	仕事と子育て・介護等の両立支援、いじめ・ハラスメント等対策 など
子育て・介護、その他の事情により退職した職員に対する再雇用の制度がありますか	
働きがいの向上	キャリアアップ支援、休業後のキャリア形成 など
産休・育休中の職員に円滑な復職の支援（e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等）がなされていますか	

4つの領域に基づいたアンケート（例）などの資料が必要な場合は、当センターまでお問合せください。



高知県イメージキャラクター「くろしおくん」

社会保険労務士や医業経営コンサルタントからのアドバイスも無料で受けられます！

高知県医療勤務環境改善支援センター

（事業受託者：一般社団法人 高知医療再生機構）

TEL 088-822-9910

平日（祝日、年末年始を除く）8：30 ～ 17：15まで
ホームページ <https://www.kochi-mrr.or.jp/kinmukankyoukaizen>
E-mail kinmukankyoukaizen@kochi-mrr.or.jp

勤務環境の
ことならお任せ

